

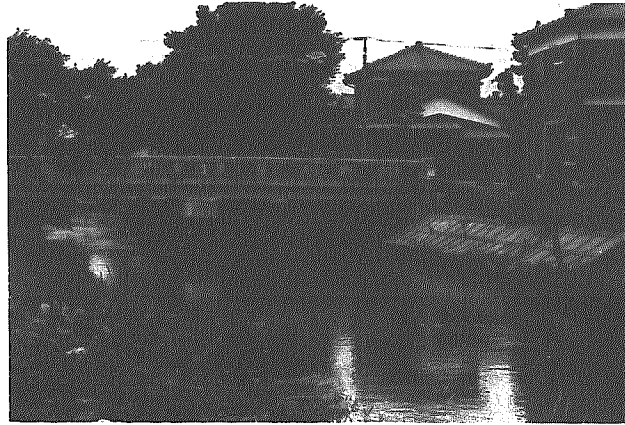
# シリーズ 41 和納7区 西川に映える人情まち

■今月の「おじゃまします」——地域情報ネットワークは、昔ながらの家並みと人に優しい人情が、いまも変わらない地区——和納七区におじゃましてみました。

県道を岩室から和納に向い、夕栄橋を渡るとそこが和納七区です。

西川に沿って南北に長く位置し、世帯61戸・人口248人の緑多い静かな地域です。

「呑気(のんき)な、おれみたいなもんが区長を務めているんだから住みやすいところなんでしょうね……。これといった特徴もないし、平凡なところですよ」と笑いながら



地区の西側をゆったり流れる西川。当時は水上交通も盛んだった。

大きく応じてくれるのは、区長として今年で12年目という青柳幸栄さん(58歳)です。

昔、諏訪神社は、ちょうど和納小学校を新築しているあたりにあったとかで、現在のところに移って35年、今では和納三社神社の一つとして、区の人たちの鎮守になっています。

また、当時そこにあった地蔵様は県道沿いの佐藤さん宅脇に再建立されたのだそうです。こんな歴史もあって信仰心の厚い人が多く、

だれかれということなく清掃は続けられており、いつもさつぱりと管理されているのは自慢です。



和納三社神社の一つでもある諏訪神社

「他の区がどんどん大きくなっていくのに比べ、この区はドーナツ化現象とでもいいますよ。ポツポツと減少しています。これまで6戸位が他に転出しましたかね。大きな変化といえば、こんなことくらいで昔からの家並みと人に優しい人情は同じですよ、人と人との心の通い合いとでもいいますよ、相互に響きあう雰囲気。……。」と話す区長さんの言葉には気がどろりありません。

年一回、ほとんどの世帯が出席する初寄合いの時以外は町内ぐるみの行事はなく、かわりに事業に対する補助によって活動を奨励しており、最近、老人クラブ、子ども会などの

活動もめだつて活発になってきていると目を細めます。

「今年、はじめて十五夜祭りの民謡流しに若妻を中心にする婦人たちが参加したんです。自主的に相談しまとまったらいいんですが、たのしいですね」と活動の広がりにも確かな手ごたえを感じているようです。

また、今月の20日には、地蔵様のお祭りがあり、供物を町内各世帯に配り一戸200円の拠出をお願いするという恒例の行事もあります。

区長さんがいう「なにもない」という言葉の裏には、すばらしい気くばりがあることを知ることができました。

「おかげさまで、地道ですが生活に根ざした活動があります。こんな小さなエネルギーが区を創る力になっていくと思います。活動が盛んになればなるほど集会場がほしいという声も聞こえてきます。当面、空屋利用などによることも考えたいですが、将来、なんとか実現したいですね……。。」と新たな課題に対する取り組みにも積極的な区長さんです。

保育園からは子どもたちの歓声が聞こえ、そばには心なごむ西川の流れがあつて、四季の移ろいごとに落ち着きを増す風情は、絵になる和納七区です。



和納7区 区長 青柳幸栄さん (58歳)

## 税務署の受付窓口が変更されました。

7月から変わりました。これからは、所得税や個人に係る消費税は個人課税部門、法人税や法人に係る消費税は法人課税部門で担当することになりました。なお詳しくは、お近くの税務署または税務相談室におたずねください。

## 県立自然科学館 催物案内

■からくりの世界(特別展) 9月1日まで ■天体観望会 8月6日、20日、31日各日とも午後7時〜9時 対象小学生以上 参加料無料です

■岩石標本製作教室 8月24日午前10時〜 定員30名(小学4年以上) 参加料300円 申込み今月12日まで

■トレスロポット競技大会 8月25日午前9時〜午後4時 対象ポットを自作した人 参加料一につき200円 申込み8月24日まで

※八月の催物については、県立自然科学館(☎025-283-3331)

## トララブルにご注意

最近、電話の利用種別変更手続きに関するトララブルが増えていきます。利用種別の変更は、代行業者に依頼しなくても自分でできますので、N T Tや官庁の名前を使つた身知らぬ業者の契約書には、安易に署名や押印をしないように気をつけましょう。